

チャレンジ！！オープンガバナンス 2023 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名 (注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	- (事務局用)	共創による「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」実現	山口県宇部市
チームがつけたアイデア名 (公開) (注2)	「宇部市型 中学校部活動地域移行モデル」…高校生が主体となって中学生にスポーツ指導		

(注1) 地域課題名は、COG2023 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち赤字部分は削除して該当する番号を記入のこと

チーム名 (公開)	宇部商業高校 総合実践チーム「スポーツ愛高団体」		
チーム属性 (公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数 (公開)	4名		
代表者 (公開)	西山 凜		
メンバー (公開)	森元 星磨		

[注意書き] ※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募内容の公開＞

1. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
2. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
4. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

5. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
6. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認

○

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて説明の途中に図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。**2ページ以内**でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題のポイントはこれです！をごく短く以下に書いてください>

<解決したい課題のポイント>

1. 宇部市の部活動廃止によるスポーツ人口減少の防止
2. 中学校、高校教諭の負担軽減

<以上の課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いてください> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が原点です>

<提案するアイデアの内容>

「宇部市型 中学校部活動地域移行モデル」…高校生が主体となって中学生にスポーツ指導

部活動地域移行することになった経緯

「中学校における教師の長時間勤務の主な要因の一つである部活動については、地方公共団体や教育委員会が、学校や地域住民と意識共有を図りつつ、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進め、環境を整えた上で、将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めていくべきである。

休日の部活動における生徒の指導や大会の引率については、学校の職務として教師が担うのではなく地域の活動として地域人材が担うこととし、地域部活動を推進するための実践研究を実施する。」
文部科学省から、部活動を今後地域に移行するとの提言がなされた。

そのことによる問題点

競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担になることは理解しています。中学時代の恩師には、休日を返上して熱心に指導していただいたことに、感謝しています。しかし、中学時代部活動の経験は、新しい人間関係が構築されます。同じ目標を共有し、ともに楽しむ中で、かけがえのない経験になることを、私達は経験しています。中学校から部活動がなくなり、地域社会から学校を母体とした生涯スポーツを楽しむ雰囲気が消え去ってしまわないかと思います。また、地域社会から指導者を募ると言っていますが、そう簡単に都合よく集まるとも思えません。スポーツを楽しむことに対して地域間の格差が広がってしまわないでしょうか。また、長期休業中はどうするのでしょうか？1日中部活動指導ができるボランティアの大人が見つかるとも思えません。

私達からの提案

そこで、競技経験のある高校生が宇部市の中学生にスポーツの指導を行うことで、高校生と中学生に他世代との人との交流を深め、楽しくスポーツをし、スポーツの楽しさを広めることができないか。高校生と宇部市教育委員会、宇部市役所スポーツ文化部などと連携し、宇部市独自の地域部活動移行モデルを構築し提案したいと思います。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

そのことによる効果

- ・高校生が宇部市の中学校に行き、スポーツ指導を行う
 - 他の世代の人と交流を深めることができる。コミュニケーション能力の向上
 - 教えることで、自らの競技力を向上させることができる
 - 同世代がスポーツの楽しさを広めることで、より楽しくスポーツができる
 - スポーツ人口の増加により、将来的には宇部市の健康寿命が延びる
 - 教員の負担を減らすことができる
 - 夏休みなど長期休業中の早朝でも、高校生なら指導が可能

「誰が」・・・ 宇部市にある高等学校の生徒が、近隣中学校の生徒にスポーツの指導をする。

「いつ」・・・ 平日の放課後、長期休み

「どこで」・・・ 中学校、高校、地域の運動公園やグラウンド、体育館など

「どのように」・・・ 以下の実施手順を繰り返し、宇部市をスポーツで健康的で活気あふれる市へ完成させます

(1)【PLAN】

1. 宇部市役所スポーツ文化部が中学生にスポーツ指導したい高校生を募集
2. 宇部市教育委員会が部活動指導に関する研修を高校生に実施
3. 中学校、高校、地域の運動公園や体育館の使用が可能なのかを調べて場所を調整する
4. 担当する地域を宇部市教育委員会が振り分けて地域担当高校生を決定
5. スポーツに必要な道具や傷害保険などは宇部市が負担する
宇部市体育協会から中学生に貸し出す

(2)【DO】

1. 高校生が地域部活動の実施日程や目標を設定
例 バスケットボール 実施日：平日 1 時間 土日は休み 目標：県大会 1 勝！
バレーボール 実施日：平日 2 時間 土日は午前中 目標：県大会優勝！
バドミントン部 実施日：毎週水曜日 土曜日は午前中 目標：ENJOY！仲間増やそう！
2. 高校生が中学校で地域部活動の紹介をする機会を各中学校で設けて募集する。
3. 中学生が自分達の考える目標に合わせて、地域部活動を選択し応募する。
4. 実際に中学校、高校、地域の運動公園や体育館で高校生がスポーツ指導。
中学校の教員が輪番で部活動の様子を見守る。輪番制にすることで、負担を大幅に軽減する。
5. 試合の引率などは、保護者の方が輪番制にするなどして協力して行う。

(3)【SEE】

1. 教員、生徒、保護者にアンケートを実施し、課題を洗い出し、改善案を提示する
2. 中学生が高校生になったとき、今度は、自分達が中学生に指導をすることで、教えあう循環が生まれる

(2) アイデアの理由（公開）

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するというアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかの理由を上記のデータを示しつつわかりやすく書いていきます>

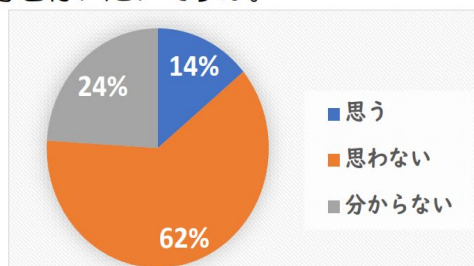
アイデアを提案する理由（なぜ）

- ・部活動廃止によってスポーツが身近ではなくなるため、スポーツに興味を持ってくれる人を増やすため
- ・部活動廃止後も指導したいと思っている教員の手伝い
- ・スポーツの楽しさを知ってもらいたい
- ・高校の廃校が増えているため、スポーツを通して高校を知ってもらう
- ・宇部市は次世代との交流を深めて社会ニーズに対応した教育をする
- ・宇部市のスポーツ人口を増加させ、魅力と賑わいにあふれるまちにしたい

部活動地域移行に関する現状と課題

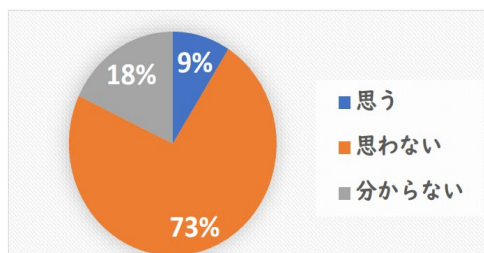
令和7年度末より休日の部活動が地域移行になった後も、引き続き休日の部活動指導を行いたいですか。

中学校教員



平日も部活動が地域に移行された後、地域クラブの指導者になりたいと思いますか。

中学校教員



宇部市

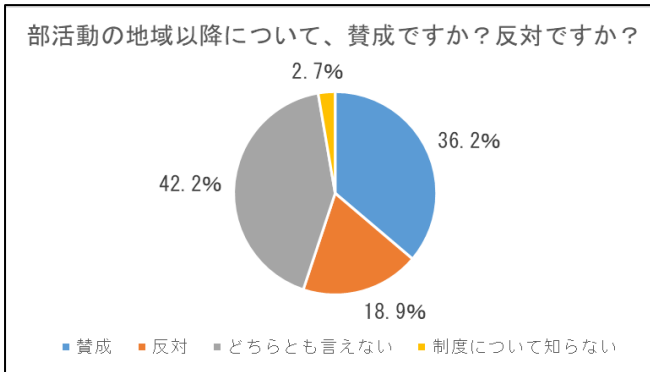
https://www.city.ube.yamaguchi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/020/158/kyoushokuinn_graph.pdf

上記のデータにより、中学校教員が引き続き部活動の指導をしたいと思っているパーセンテージは低いことがわかります。よって、中学校の部活動指導は、今後、衰退していくと考えられます。

2. アイデアの説明（公開）

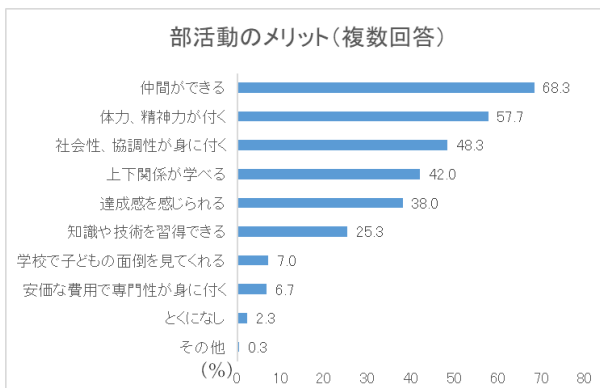
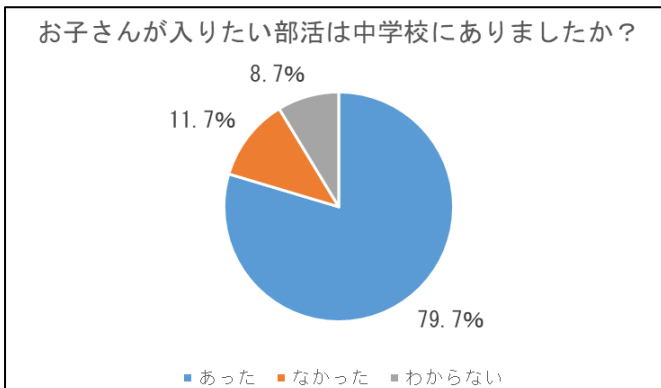
(2) アイデアの理由（公開）

保護者・地域の部活動に関する要望



保護者の意見はどちらとも言えないが最も多い。理由としては、「教員の負担軽減という観点では賛成だが、部活動の意義や効果などを考えると反対」といった意見が多かった。教員の負担を軽減し、部活動のメリット・意義や効果を維持するために、現役高校生が地域の部活動を担うことは効果的な方法だと思う。

ベネッセ <https://benesse.jp/qa/nayami/20230920-1.html>

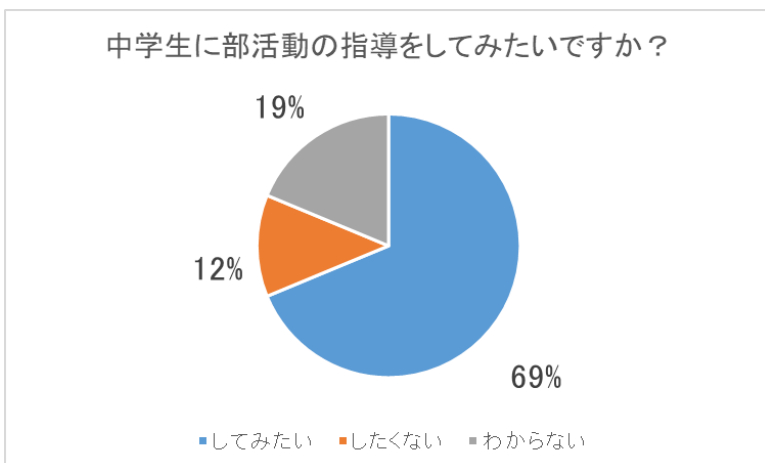


東洋経済オンライン <https://toyokeizai.net/articles/-/666564>

部活動を熱心に取り組む本校生徒の意見

本校の強豪部活動 野球部・バレー部・バスケット部 3年生に聞いてみました。

小学生・中学生に部活動の指導をしてみたいですか？ してみたい・したくない・分からない



【してみたい】

- ・自分の知識を伝えたいから
- ・自分の技術の向上にもつながるから
- ・正しいことを教えられる自信がないが、指導者の立場になってみたい
- ・教えるのは楽しい
- ・交流できるから、楽しめる
- ・面白そう

【したくない】

- ・自分の戦略で勝てるか自信ないから
- ・下手だから

本校生徒に聞いてみたところ、やってみたい人が約7割だった。教えることも楽しい活動として前向きに捉える生徒が多かった。

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

＜アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず＞

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**

2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法

3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. 実現する主体

中学生にスポーツを指導したい高校生が主体となり実施します。

地域間の調整や指導する高校生に対する指導は、宇部市体育協会や宇部市役所スポーツ文化部が担当。

2. 実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）

部活動をしたい中学生、中学生にスポーツを指導したい高校生。

スポーツ道具は中学校や高校からの貸し出し、または宇部市体育協会からの貸し出し。

中学校、高校、宇部市の運動公園や体育館。費用は、市の補助と保護者からの会費でまかなう。

3. 実現に至る時間軸を含むプロセス

【R5.4～】共創による「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」実現 に向けた、学校内研修授業

地域課題である「ひとが輝き 交流ひろがる わたしたちの宇部」の実現に向けて、前提となる地域と地域企業の現状や現在の取り組み、これからの課題などについて、地域の方々に来校していただき、講義を実施しました。

（1）地域を知る

5/12 宇部市役所 観光交流課

5/26 山陽小野田市役所 商工労働課 久保 弘明 様

6/ 2 山口県庁 産業労働部産業政策課 産業企画班 主幹（班長）井上 正雄 様

9/ 8 宇部市公共職業安定所 就職支援コーディネーター 石田 典子 様

11/10 宇部商工会議所 課長補佐 為近 晃弘 様

（2）地域企業を知る

9/8 UBE 株式会社 人事部 市橋 康嗣 様

9/15 小野田商業開発株式会社 取締役営業本部長兼開発部長 吉良 忠様

9/22 株式会社 YMFG ZONE プランニング 河内一泰 様

9/29 税理士法人やまぐちパートナーズ 統括代表社員 公認会計士 河口 雅邦 様

10/6 てしま旅館 社長 手島 英樹 様

10/20 量り売り専門店 F 代表 藤本 美砂子 様

10/27 株式会社コパン 代表取締役 城美 暁 様

（3）ビジネスプランニングを学ぶ

5/11・5/28 日本政策金融公庫 国民生活事業本部 中国創業支援センター 上席所長代理 富田 佑樹



【R5. 4～】宇部市地域連携共創推進課によるチャレンジオープンガバナンス応募に向けた講義

チャレンジオープンガバナンス応募に向けた授業として、地域課題の説明、チャレンジオープンガバナンスに関する説明や考え方など、日本政策金融公庫、宇部市地域連携共創推進課さんらに来校していただき、講義を実施しました。

(2) チャレンジオープンガバナンスについて理解する

9/28 宇部市 地域連携共創推進課 課長 大西義紀氏ら



【R5. 11～】宇部市地域連携共創推進課と連携した企画作成とブラッシュアップ

【R5. 12～】チャレンジオープンガバナンスに応募

以降、日程（案）となります。

【R6. 1～R6. 2】中学生にスポーツ指導したい高校生の募集をします。

【R6. 2～R6. 3】高校の部活動の顧問と中学校が連帯をし、人数の確認をします。

中学校、高校、地域の運動公園や体育館の使用が可能なのかを調べて場所を調整する

【R6. 2～R6. 3】宇部市教育委員会が部活動指導に関する研修を高校生に実施

担当する地域を宇部市教育委員会が振り分けて地域担当高校生を決定

【R6. 4】高校生が中学校で部活動紹介

【R6. 4～】実際に中学校に行き、スポーツの指導をします。